

## 行政手続法・行政手続条例適用の申請に対する処分に係る審査基準と標準処理期間

	所管課名	森林づくり推進課	整理番号	3-8
許認可等の種類	森林病虫害の駆除・予防のための他人の土地への立入りの許可			
根拠法令条例等・条項	森林法第49条第6項			
許認可等の概要	<p>森林所有者等は森林に重大な損害を与えるおそれがある害虫、獣類、菌類又はウイルスが森林に発生し、又は発生するおそれがある場合において、その駆除又は予防のため必要があるときは、市町村長の許可を受けて他人の土地に立ち入ることができる。</p>			
審査基準 (未設定の場合はその理由)	<p>未設定(法令等の規定において言い尽くされているため)</p> <p>[参考] 森林法第49条第6項 第49条 6 森林所有者等は、森林に重大な損害を与えるおそれのある害虫、獣類、菌類又はウイルスが森林に発生し、又は発生するおそれがある場合において、その駆除又は予防のため必要があるときは、市町村の長の許可を受けて他人の土地に立ち入ることができる。この場合には、第2項から前項までの規定を準用する。</p> <p>森林法施行規則第83条 第83条 法第49条【立入調査等】第1項又は第6項の規定による許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書(2通)を市町村長に提出しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 申請人の氏名又は名称及び住所</li> <li>二 許可を受けようとする目的</li> <li>三 立ち入るべき土地の所在、地番及び地目</li> <li>四 立ち入るべき土地の所有者及び関係人の氏名又は名称及び住所</li> <li>五 立入の時期及び期間</li> <li>六 立木竹の伐採をするかどうか並びに伐採をする場合にあってはその箇所及び数量</li> </ul> <p>森林法第49条は別紙のとおり</p>			
基準の制定根拠	—			
標準処理期間 (未設定の場合はその理由)	1月			
期間の制定根拠	「窓口事務の改善について」(昭和47年9月30日付け47文第499号農林事務次官依命通達)			

(別紙)

(立入調査等)

森林法第49条

- 1 森林所有者等は、森林施業に関する測量又は実地調査のため必要があるときは、市町村の長の許可を受けて、他人の土地に立ち入り、又は測量若しくは実地調査の支障となる立木竹を伐採することができる。
- 2 市町村の長は、前項の許可の申請があったときは、土地の占有者及び立木竹の所有者にその旨を通知し、意見書を提出する機会を与えなければならない。
- 3 第1項の許可を受けた者は、他人の土地に立ち入り、又は立木竹を伐採する場合には、あらかじめその土地の占有者又は立木竹の所有者に通知しなければならない。
- 4 第1項の規定により他人の土地に立ち入り、又は立木竹を伐採しようとする者は、同項の許可を受けたことを証する書類を携帯し、その土地の占有者又は立木竹の所有者にこれを呈示しなければならない。
- 5 第1項の規定により他人の土地に立ち入り、又は立木竹を伐採した者は、これによって生じた損失を補償しなければならない。
- 6 森林所有者等は、森林に重大な損害を与えるおそれのある害虫、獣類、菌類又はウイルスが森林に発生し、又は発生するおそれがある場合において、その駆除又は予防のため必要があるときは、市町村の長の許可を受けて他人の土地に立ち入ることができる。この場合には、第2項から前項までの規定を準用する。